

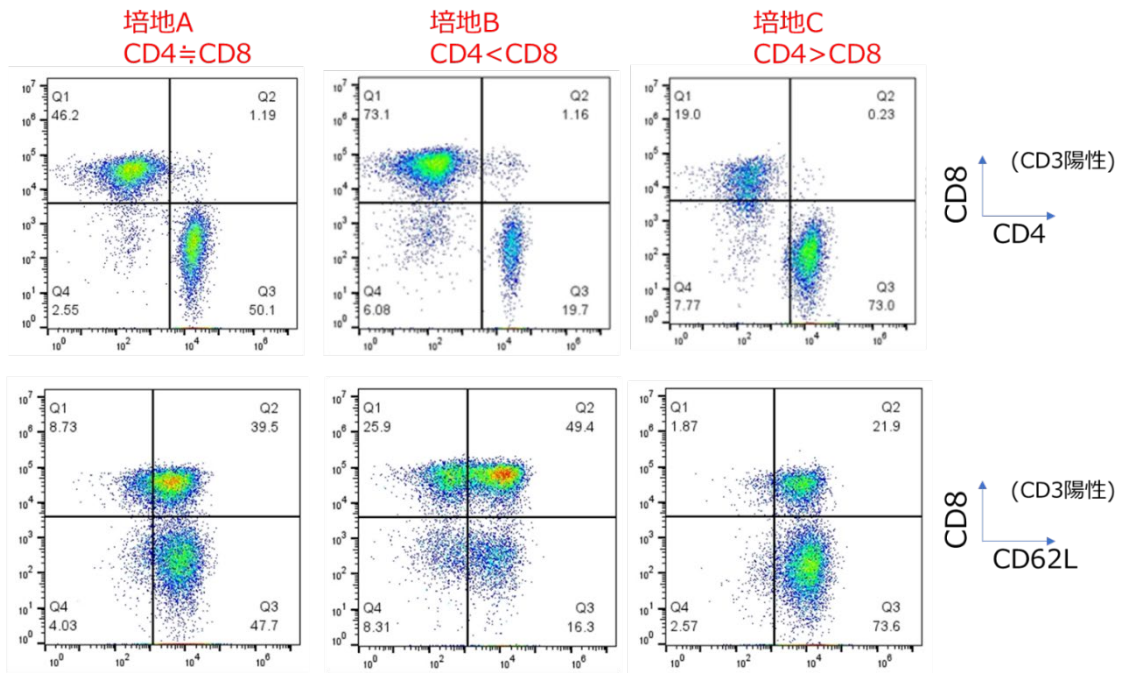
2024年6月28日
愛媛大学
株式会社マイオリッジ

マイオリッジが開発するT細胞培地の抗腫瘍効果に関する研究について
マイオリッジと共同研究契約を締結

国立大学法人愛媛大学(愛媛大学大学院医学系研究科免疫学・感染防御学講座、医学部附属病院先端医療創生センター感染症・免疫治療学部門 山下政克教授)はこの度、株式会社マイオリッジ(以下マイオリッジ、代表 牧田直大)と共同研究契約を締結しましたのでお知らせいたします。

マイオリッジはCD4抗原陽性として分類されるヘルパーT細胞とCD8抗原陽性として分類されるキラーT細胞の割合、及び体内に移入した際に長期生存が期待される各種表面抗原分子発現(ex:CD62L抗原)を、培地組成の違いによりコントロールするT細胞用増殖培地を開発しました(図)。このT細胞用培地の臨床応用への展開を見据え、愛媛大学が有する抗腫瘍モデルでの有効性の検討を共同開発契約内で実施します。

(図) hPBMC 11日間培養後のFCM解析



愛媛大学大学院医学系研究科免疫学・感染防御学講座では、免疫の司令塔でもある T 細胞の分化、記憶形成や老化のメカニズムを解明する研究を行なっています。T 細胞が機能を発揮する仕組みを解明・制御することで、T 細胞を用いた免疫療法やワクチン開発、免疫疾患の新規治療法開発の貢献につなげます。

マイオリッジは京都大学の研究成果を基に設立されたスタートアップ企業で、iPS 細胞から心筋細胞への分化誘導にサイトカイン等のタンパク質を低分子化合物に置き換えた完全プロテインフリー分化誘導法の技術からスタートしました。細胞培養における培地組成の重要性に着目し、オリジナルの培地成分ライブラリと培地スクリーニング法を基にした、細胞の老化を抑える MSC 用培地製品、及び接着因子コーティングが不要な iPS 細胞用培地等の培地製品の開発、目的細胞に合わせた提案型培地オプティマイゼーションを展開することで再生医療の社会実装の加速に貢献します。

【本件に関するお問い合わせ先】

国立大学法人愛媛大学
大学院医学系研究科免疫学・感染防御学講座
教授 山下 政克
〒791-0295 愛媛県東温市志津川 454
TEL: 089-960-5274
E-mail: yamashita.masakatsu.mg@ehime-u.ac.jp

株式会社マイオリッジ
営業推進部 高橋 大祐
〒606-8305 京都市左京区吉田河原町 14 番地
公益財団法人京都技術科学センター 本館 B5 号室
TEL: 075-585-4560
E-mail: sales@myoridge.co.jp